



技術の継承から伝統の進化へ

株式会社 望月工務店

住所：〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字若宮72番地

電話番号：0532-53-2445

担当者：望月成高

主要業務：設計・施工（設計業・建設業）

ホームページ：https://mochizuki-komuten.co.jp/

目指すゴール



創業から73年、三代続く『望月工務店』

東三河を中心に、一代目・二代目に渡って住宅文化と技術の継承を続け

三代目 望月成高が社寺仏閣建築の修業から戻り、住宅：新築・改修に加えて

社寺仏閣建築：新築・改修、文化財建築：改修・復元、古民家再生を新たな事業分野として設計から施工を一貫して行うことが出来ます。

住宅において、堂宮大工の口伝で継承してきた技術と技法をアレンジし、提唱する【伝統の進化】では温故知新の『魅せる構造美』と『用の美』を追求したスタイリッシュな建築は商品的メーカー住宅では無い、規格品・既製品にとられない素材からのデザイン・フルオーダーメイドの規格外ともいえる住宅造りが可能です。

使用する材木には、全て奥三河からの地元県産材を使用する事により運搬時のCO2抑制と、地元経済への付加など、環境・地産地消に貢献しています。

望月工務店では、技術の継承による若手大工を育成を行っており自社から、2021・2022年『技能五輪全国大会』『建築大工』愛知県代表を輩出し継承される技術と建築を守り、更に研鑽練磨を重ね、新たなカタチへと実現します。



【技術の継承】
↓
【伝統の進化】

【伝統の進化】による独自の軸組と左官塗り壁を考案（右）

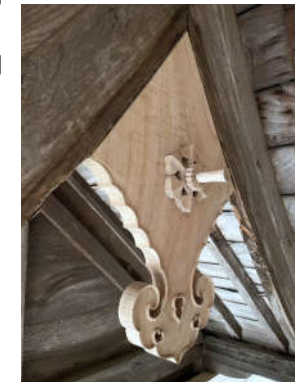
『魅せる構造美』
『用の美』

【住宅】

全ての木材に県産材を使用

【社寺仏閣】

市指定文化財建築の改修・復元工事
社寺彫刻の復元も望月の手で行っています。（右）



石場建て・伝統的構法・構造計算：限界耐力計算での新築工事は愛知県内では、数件しかない建築事例となります。（左）

SDGsの取組み紹介

－ ゴールに向けた望月工務店の取組み －

減少の一途を辿っている伝統建築技術者において、若手と、教育てる者同士による後世に残す為の仕事環境づくりに加えて、伝統建築・文化財建築などの歴史性建築物に取り込んだ計画を推進し伝統建築技術の継承から、伝統の進化をカタチにする事で、新たな時代に合った技法・技術へと発展させ、自分達が住んでいる街の魅力あるまちづくりの為の建物造りを実践しています。

現在の住宅において、建築材料として一般的に使われる工業製品は汎用性が高く、品質が安定していますが、ビニル製品やプラスチック製品など石油を原料とする製品であり、環境面での心配があるものもあります。

木や土、草などの自然素材から造られる建築材料は、本来自然に存在しているものであることから環境への負担が少なく身体にも優しいものです、その材料と技術を使い情緒豊かかつ健康的な住宅の空間づくりを実践しています。

奥三河の県産木材の利用に貢献しており、木材は「植える→育てる→伐採する」というサイクルで森林を適切に管理すれば半永久的に生産できる優れた材料です。

また、生育する時には温室効果ガスのひとつである二酸化炭素を吸収し、木材として使用される際も内部に炭素を固定し続けるため、地球温暖化対策にも貢献します。

さらに、地域の気候や風土に馴染んだ地域産木材を利用する事は、木材を運搬する時のエネルギー消費も抑えることが可能であり、かつ地域の伝統や文化や産業にも貢献することになるなど、環境配慮の面から非常に理にかなったものとして実践しています。

【ゴール 3、8、9、11、12、15】